

2026.4.1

主任教員 坂本育子

上尾国際教育センター 会話 シラバス

教育目標

日本語教育参照枠に基づき、日常生活および社会生活、進学に関わる場面において、学習した文法や表現を用いながら、相手とやりとりを行い、自分の考えや経験を整理して伝えることができる力を養う。

また、意見交換やロールプレイを通して内容を整理し、やりとりを深めるための手段として作文や発表につなげることで、目的や相手に応じて分かりやすく表現する力を身につける。

さらに、自らの表現を振り返り、課題を把握し改善することで、主体的に言語活動に取り組む態度を養う。

【会話】

B 2 (中級 2)	テキスト	・ JLPT 文法 N3 ポイント & プラクティス
---------------	------	----------------------------

到達目標 (Can-do)

1. 日常生活や身近な社会生活の場面において、必要な情報を質問し、条件や内容を確認しながらやりとりを行うことができる。
2. 相手の意見や状況を踏まえながら、自分の考えや希望を述べ、提案・助言・相談を行うことができる。
3. 経験や将来の希望、生活上の出来事について、理由や気持ちを添えて相手に伝えることができる。
4. 場面に応じて依頼・確認・調整を行い、相手と合意形成に向けたやりとりを続けることができる。
5. ニュースや身近な話題について意見を述べ合い、相手の考えを踏まえて自分の考えを広げることができる。
6. 意見交換やロールプレイを通して内容を整理し、簡単な作文や短い発表につなげることができる。
7. 活動後の振り返りを通して、自分の課題や改善点を把握し、次の学習に活かすことができる。

評価の観点

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	学習した文法・語彙・表現を理解し、場面に応じて適切に用いながら、必要な情報を伝えたり確認したりできている。	相手の状況や発言を踏まえ、自分の考えや経験を整理し、理由や具体例を添えて分かりやすく表現できている。	やりとりやロールプレイ、振り返り活動を通して、自分の表現を見直し、改善しようとしている。

学習方法

1. 事前に文法項目や語彙を確認し、授業ではポイントのみを整理する。
2. モデル会話や例文を確認し、場面・目的・表現の使い方を理解する。
3. ペアやグループでロールプレイを行い、学習した表現を実際のやりとりの中で使う。
4. 相手の発言を受けて、確認・提案・助言・相談などのやりとりを継続する練習を行う。
5. 必要に応じて、意見交換の内容を整理し、簡単な作文や短い発表につなげる。
6. 活動後に共有やフィードバックを行い、よい表現や改善点を確認する。
7. 簡易ルーブリックまたはチェックシートを用いて自己評価を行い、次の学習目標を明確にする。

シラバス (32 単位時間の学習計画)

〈週 4 単位時間〉

学習内容・項目	学習のポイントと到達点	評価および学習支援
1. サービス利用、相談、提案、依頼、助言などの日常生活場面におけるやりとり 2. 経験、希望、感謝、体調、トラブルなどを具体的に説明する表現 3. 相手の意見を受けて調整したり、条件を比較して判断したりする会話活動 4. ニュースや身近な話題について意見を述べ合う活動 5. 意味の分からない語の確認や、説明を受けて理解を深めるやりとり 6. 意見交換を通して内容を整理し、簡単な作文や短い発表につなげる活動 7. 模擬試験および振り返り活動	・ 場面に応じて必要な情報を質問し、条件や内容を確認しながらやりとりする力を身につける。 ・ 相手の状況や気持ちに配慮しながら、自分の意見、経験、希望を具体的に伝える力を養う。 ・ 提案・助言・相談・依頼などのやりとりを通して、相手の発言を踏まえて応答を続ける力を身につける。 ・ 複数の条件や情報を比較しながら、自分の判断を述べ、相手と相談して結論を出す力を養う。 ・ ニュースや話題について意見を交換し、自分の考えを広げながら表現する力を身につける。 ・ 意見交換の内容を整理して、簡単な作文や短い発表につなげる力を養う。 ・ 模擬試験や振り返りを通して、自分の課題を把握し、次の学習に活かす。	・ 各課のロールプレイ活動において、場面理解、発話内容、応答の適切さ、やりとりの継続を観察し、評価する。 ・ 活動後の振り返りシートや自己評価を通して、学習状況や改善点を確認する。 ・ 必要に応じて教師がフィードバックを行い、表現ややりとりの質の向上を支援する。 ・ 学習した文法や表現の理解状況は、テキストの問題や模擬試験等を通して確認する。 ・ 授業内での活動参加状況、ロールプレイの実践、自己評価の内容を総合的に判断する。 ・ 理解が不十分な場合は、文法・語彙・表現の補足を行い、次の活動に活かせるよう支援する。 ・ 単一の試験結果だけでなく、継続的な学習活動の成果を総合して確認する。

【会話】

B2 (上級1～2)	テキスト	・ JLPT 文法 N2 ポイント & プラクティス
---------------	------	----------------------------

到達目標 (Can-do)

1. 社会的な話題や身近なテーマについて、自分の立場や考えを理由や具体例を挙げて述べることができる。
2. 相手の発言を踏まえながら、自分の意見を補足・修正し、条件調整や合意形成に向けたやりとりを行うことができる。
3. 経験や出来事について、状況・背景・気持ちを具体的に説明し、相手とのやりとりを発展させることができる。
4. 発表場面において、テーマに応じて内容を整理し、聞き手に分かりやすく伝えることができる。
5. 意見交換を通して内容を整理し、意見文・報告文・提案文などの作文を作成することができる。
6. 社会的・専門的な話題について、相手の意見と比較しながら議論や相談を行うことができる。
7. 活動後の振り返りを通して、自らの表現や課題を見直し、より適切なコミュニケーションにつなげることができる。

評価の観点

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	学習した文法・語彙・表現を理解し、やりとり・発表・作文の場面で適切に用いることができる。	目的や相手に応じて内容を整理し、理由・具体例・比較を用いながら、自分の考えを論理的に表現できている。	意見交換や発表、振り返りを通して、自分の表現を見直し、改善しようとしている。

学習方法

1. 事前に文法項目や語彙を確認し、授業では要点を整理する。
2. モデル会話やモデル文を確認し、場面・目的・表現の使い方を理解する。
3. やりとり、発表、作文のいずれかの活動を中心に、各回の課題に応じた言語活動を行う。
4. ペアやグループで意見交換を行い、相手の発言を踏まえて自分の考えを整理する。
5. 意見交換の内容をもとに作文を作成し、必要に応じて発表活動へつなげる。
6. 共有とフィードバックを通して、よい表現や改善点を確認する。
7. 簡易ルーブリックまたはチェックシートを用いて自己評価を行い、課題や次の目標を明確にする。

シラバス (60 単位時間の学習予定表)

〈週 4 単位時間〉

学習内容・項目	学習のポイントと到達点	評価および学習支援
(20 単位時間) 1.身近な話題や社会的な話題に関するやりとり活動 2.経験、出来事、依頼、調整、相談、提案などを扱う会話活動 (40 単位時間):やりとり・発表・作文を組み合わせた総合的な活動 3.社会的課題、ニュース、地域社会、制度、働き方などを扱う意見交換活動 4.報告文、意見文、提案文などの作文活動 5.発表場面における内容整理、具体例提示、聞き手を意識した表現活動 6.模擬試験および振り返り活動	・身近な話題から社会的な話題まで、理由や具体例を用いて自分の意見を述べる力を身につける。 ・相手の発言や条件を踏まえて、提案・調整・相談・議論を行う力を養う。 ・出来事や経験を背景や状況とともに具体的に説明し、会話を発展させる力を身につける。 ・意見交換を通して考えを整理し、報告文・意見文・提案文としてまとめる力を養う。 ・発表活動を通して、内容を構成し、聞き手に分かりやすく伝える力を身につける。 ・社会的な課題について複数の視点から考え、比較・説明・提案を行う力を養う。 ・模擬試験や振り返りを通して、自分の課題や改善点を把握し、次の学習に活かす。	・やりとり・発表・作文の活動において、内容、構成、語彙・文法、伝達の明確さを観点別に確認する。 ・自己評価やチェックシートを用いて、活動への取り組み状況や課題を把握する。 ・必要に応じて教師がフィードバックを行い、表現の適切さや論理性の向上を支援する。 ・学習した文法や表現の理解状況は、テキストの問題や模擬試験等を通して確認する。 ・意見交換をもとにした作文や発表について、やりとりを基盤とした総合的な言語活動として評価する。 ・理解が不十分な場合は、文法・語彙・構成・表現方法の補足を行い、次の活動に活かせるよう支援する。 ・単一の試験結果だけでなく、継続的な学習活動の成果を総合して確認する。